

## 国語

国語A(知識)について、今回出題している学習内容を十分に理解するには至らず課題がある。  
国語B(活用)について、言語事項に関する知識や、書く力に関しては課題がある。

### 課題等

#### 話すこと・聞くこと

- (B)話し合いにおける司会の進行方法についての理解は良好といえる
- (A)話の要点を聞き取り、効率よくメモすることに課題がある。
- (B)発言されたことをもとに内容を考えて整理することに課題がある。

#### 書くこと

- (A)目的や様式に応じて必要な事柄を選び文章を書き換えることは理解している
- (B)文章の内容を的確に読み取り、その理由について考え文章にまとめることや、必要な事項を抜き出し書き写すことや、自分の考えをまとめて文章に表現することに課題がある。

#### 読むこと

- (A)説明文の内容を把握し内容に合った文章を読み取ることは良好といえる。
- (A)物語文の登場人物の心情や情景描写を叙述に即して読み取ることに課題がある。
- (B)文章の内容を的確に読み取ることやその理由について考えることや、必要な事項を読み取ることに課題がある。

#### 言語事項

- (A)漢字の読み及び文の前後関係から適切な接続語選択、指示語の指し示す内容についての学習は相当数の児童が理解し良好といえる。
- (A)漢字の書き取りや一文を二文の構成に書き換えることに課題がある。

・・・相当数の児童ができている点　・・・( )内の記号は、A = 国語A , B = 国語B

### 指導改善のポイント

#### 話すこと・聞くこと

聞き手にとって分かりやすくスピーチをする活動を日常的に取り入れることや聞く側に回った場合は要点のみをメモに取らせる訓練を地道に行う。

発言したいと思う発問の工夫や、発言者の話を集中してしっかりと聞くことのできる学習環境の整備する。

#### 書くこと

文章の内容を要約し、要点を書き出す活動や決められた字数や形式で書き綴る活動を取り入れ、書くことに関する基本的な指導を徹底させる。

校内研究の研究テーマ(書くこと)と連携し、効率よく書くことの指導を深める。

#### 読むこと

物語文の学習では、登場人物の心情の変化や性格、周囲の情景や叙述について、物語の展開に即して丁寧に読み取らせ、自分の考えをもたせるようにする。

説明文の学習では、事実を即し的確に読み取らせ、正しく説明をすることのできるようにする。複数の資料や文章を提示し、比較させ、相違点・類似点・関連性等について見分けることのできる言語活動を取り入れる。

#### 言語事項

少なくとも当該学年の前までの既習の漢字についてステップ学習や桐の時間を活用し指導する。

# 算数

算数A(知識)について、今回出題している学習内容を十分に理解するには至らず課題がある。  
算数B(活用)について、知識・技能を活用する力に課題がある。

## 課題等

### 数と計算

- (A) 整数・小数・分数の四則計算は、相当数の児童ができています。
- (A) 整数と小数の除法(わり算)の計算や小数の入った四則の混合式理解には課題がある。
- (B) 答えを求める際に計算を工夫することや見通しをもち計算することに課題がある。

### 量と測定

- (A) 三角形や平行四辺形の性質を理解し面積を求めることは、相当数の児童ができています。
- (B) L字型の図形の面積を分解し面積を求めることは、おおむねの児童はできています。
- (A) 円の性質を理解し面積を求めることに課題がある。
- (B) 図形を比較し、必要な情報を取り出し説明することに課題がある。

### 図形

- (A) 平行四辺形の性質を理解した上で、作図をすることのできる児童は相当数います。

### 数量関係

- (B) 棒グラフから人数の大小をよみとることは、相当数の児童ができています。
- (B) 条件を考えて式を立てたり、見通しをもって数の大小の判断したりすることに課題がある。

・・・相当数の児童ができています点　・・・( )内の記号は、A = 算数A , B = 算数B

## 指導改善のポイント

### 数と計算

計算し終わっても検算させることの習慣化を図る。  
除法を用いて小数で立式する場合には、簡単な整数に置き換えて式を考えてみる活動を取り入れさせ、理解の支援を図る。  
計算をする上で工夫(計算の順序の変更、分配法則・結合法則の活用)をすることにより、計算をより確実に早くできることを理解させる。

### 量と測定

長さ・重さ・面積・体積・時間等の単位換算の基本となる部分について、相互の関係が容易に把握できるように日常生活の中から生活と関連付け指導する  
様々な情報の中から、適切な情報を選択し課題の解決を図ることのできるように考える活動を取り入れる。

### 図形

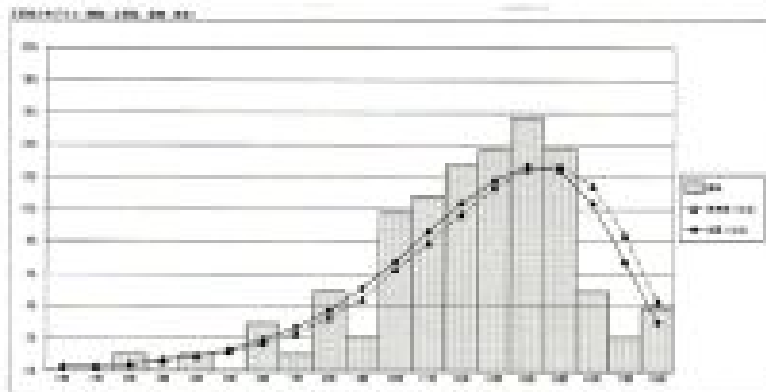
日常的な学習の中で平行線・垂直線・正三角形・直角三角形・円等を描く機会を増やしより正確に描くことのできるように指導する。  
今一度三角形(二等辺三角形・直角二等辺三角形・直角三角形)、いろいろな四角形(長方形・正方形・台形・平行四辺形・ひし形)、多角形(5・6・8角形)等の図形の性質を復習させ理解を深める。

### 数量関係

日常生活の中から使用されている百分率や歩合について紹介し、興味関心をもたせる。  
式の形式に着目させて、規則性・法則性に気づかせる学習活動を取り入れる。

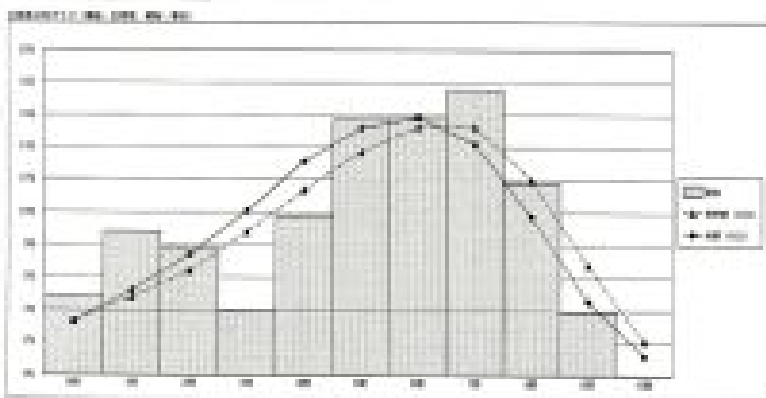
## 結果概況

### [国語 A : 主として知識]



国語 A (知識)

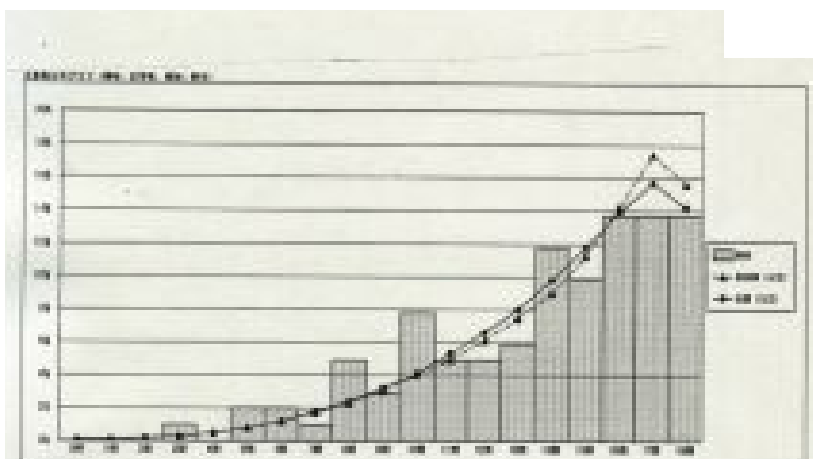
### [国語 B : 主として知識]



国語 B (知識)



## [算数 A : 主として知識]



## [算数 B : 主として知識]

